



「会長年頭所感」

北海道老人福祉施設協議会 会長 瀬戸 雅嗣



新年、あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

昨年も新型コロナウイルス感染症の対応に明け暮れた一年でした。一昨年11月から昨年2月頃までの第3波、4月から7月頃までの第4波、そして8月から10月頃までの第5波と、息つく間もない感染拡大の後には、ワクチン接種が進んだためと言われる感染の縮小が見られて来て、昨年の後半には基本的な感染対策をすることで日常生活が戻りつつありました。しかし年末頃から再び感染拡大の兆候が見られ、年明けもその傾向が続いています。新たな変異種（オミクロン株）による影響が不明確な中で先が読めない状況がまだしばらく続くのではないかと思います。道老協では引き続き見舞金の支給事業などで会員の皆様の支援をしております。

また、今年には次の介護保険法改正が本格的に議論される年です。前回見送りとなった利用者負担の見直し（2割、3割負担の対象拡大など）、ケアマネジメント料金の利用者負担の検討、軽度者（要介護1、2）への給付の見直し（地域支援事業への移行）などが再び議論されることとなりますので、その動きに注目していきたいと思っております。

さらに昨年末に決定した介護職員処遇改善支援補助金の支給が2月から始まりますので、その対応については各施設・事業所での対応が必要となります。しかし、その支給対象とならない養護や軽費・ケアハウスの介護職員の処遇改善については北海道や各市町村に対する働きかけが重要であり、道老協としても必要な対応を図ってまいります。

その他、引き続き懸案となっている人材不足問題や災害対策についても厳しい状況が予想されます。このため道老協では今年も各地域できめ細かな活動を進めるとともに、各種委員会活動を通して課題への対応や事業化の検討・実施、制度提言などを相互に連携しながら進めて参る所存です。また、北海道庁関連部局や各種保健福祉関連団体との連携、全国団体との事業協力を進めることで、多種多様な課題解決に老人福祉施設がどのような貢献ができるかを模索していく所存ですので、会員の皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、今年も皆様に取りまして素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

 謹賀新年 